

無石綿

# NSフロアハード

## 露出仕上げ可能床専用補修材 (再乳化形粉末樹脂混入タイプ)

NSフロアハードは、エチレン酢酸ビニル(EVA)系再乳化形粉末樹脂を混合した露出仕上げ可能な床専用補修材です。

### 特長

- 仕上り色はコンクリート近似色であり、露出仕上げが可能です。
- 耐摩耗性に優れ、人・車等の通る場所など強度を必要とする場所への露出仕上げが可能です。
- 刷毛引き仕上げ・こて押え仕上げが可能です。
- 一材型製品のため、缶・ボトル等の廃材が出ません。
- 工場生産による均一配合のため、水練りだけで使用でき、品質管理が容易です。

### 標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	標準塗厚	標準施工面積
25kg/袋	内・外床 住宅基礎立ち上り	コンクリート、 モルタル等	露出仕上げ※、塗床	清 水 約4.5 ℓ	2~5mm	約4m <sup>2</sup> (4mm厚)

※落下物などの衝撃荷重により、凹みやキズなどの表面の変形が発生することがありますので、ご注意ください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。  
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

練り混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練り混ぜ時間は3分を確保してください。

### 性能

試験項目	試験結果	試験方法	
耐ひび割れ性	ひび割れの発生なし	JIS A 6916 [建築用下地調整塗材] CM-2による	
耐衝撃性	ひび割れ及びはがれなし		
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	7.1		
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	28.0		
付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	標準養生		1.8
	低温養生		2.5
吸水量(g)	1.9		
長さ変化(%)	0.15		

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成(株)中央研究所

#### ■耐摩耗性試験結果 (数値が小さいほど摩耗しづらいことを表します)

製品名	摩耗量(g)	試験方法
NSフロアハード	0.25	JIS A 1453 [建築材料及び建築構 成部分の摩耗試験方法 (研磨紙法)]による
軽量骨材系薄塗補修材	5.4	
普通骨材系既調合モルタル	4.1	
けい砂モルタル(1:3)	20.0	

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成(株)中央研究所

#### ■屋外暴露試験 (露出仕上げでの実用性を確認しています)

項目	1年経過時点の観察(試験)結果
表面のひび割れ	なし
モルタルの浮き	なし
表面の変色	なし
表面の摩耗	なし
付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	2.1

注)：下地；コンクリート 塗厚；3mm

日本化成(株)中央研究所

# 施工法

## 下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等を研磨機または高圧洗浄機を用いて研磨除去し、健全なコンクリート面を露出させてください。

\*NSフロアハードは設定塗厚が2~5mmですので、2mm以上の塗厚を確保するように留意してください。

## 下地の不陸調整

下地乾燥後、不陸調整が必要な部分にNSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛で塗布し、以下に記したモルタルを用いて不陸調整をおこなってください。

不陸調整厚5mm以下の場合：NSフロアハード

不陸調整厚5mm以上の場合：NSポリマーミックス#50

\*NSフロアハードの塗厚が異なる場合、押えムラ・色ムラが発生しますので塗厚が均一となる様にしてください。

## 下地処理 (吸水調整材 塗布)

不陸調整材の硬化後、全面にNSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛でむらなく塗布してください。

\*吸水の激しい下地の場合は、ドライアウトの原因となりますので、希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。

## 練混ぜ

NSフロアハード25kgに対し水約4.5ℓを加え、モルタルミキサーやハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。

\*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練直しは避けてください。

## 塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。仕上げは金ごて仕上げ、刷毛引き等をおこなってください。

\*浮きや割れの原因となりますので、「ガリッ」と擦ってから所定厚に塗り付けてください。

\*1回の塗厚は、標準仕様の塗厚を厳守してください。

\*金ごて仕上げの場合は、「梨肌」程度の仕上げりとし、過度のこて押えは避けてください。

\*色ムラの原因となりますので、こて押え上げは、上塗りと同時にこなって下さい。また、押え仕上げを行う際の過度の水打ちは避けてください。

## 養生

降雨・強風あるいは周辺の他の作業により塗付け作業に支障をきたすおそれがある場合は、作業を中止してください。

\*通風や直射日光等によりドライアウトが予想される場合は散水養生をおこなってください。

\*白華や水溜りによる染みの原因となりますので、開放までは夏季7日、冬季14日以上養生をとり、降雨・降雪等があたらないようにしてください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1004027
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>



## 使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。